

# 食育 だより

令和5年1月

長崎市立伊王島小中学校  
栄養教諭 竹下 朋哉

## 全国学校給食週間です!

1月24～30日までの1週間は「全国学校給食週間」です。学校給食は、明治22(1889)年に山形県鶴岡市で初めて実施されて以来、各地に広がりましたが、戦争のため中断されました。戦後、食糧難による子どもの栄養状態の悪化を背景に、給食実施の必要性が指摘され、世界からも給食用物資の寄贈がありました。

そして昭和22(1947)年、ついに学校給食は再開されました。これを記念して設けられたのが、「全国学校給食週間」です。この期間には、学校給食の意義や役割についての理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的に、学校でもさまざまな行事を行います。

子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、食塩のとりすぎ、肥満傾向や逆に若年女性のやせなどが懸念されている今日、学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるためにとても重要な役割を果たしています。

## 学校給食7つの目標

学校給食は、学校での教育に欠くことのできないものです。  
学校で食育を行っていくための「生きた教材」として、給食時間はもとより、授業などでも活用されています。

食事の大切さを知り、  
よい食べ方を身に付けよう!



健やかで丈夫な  
体をつくろう!



自然の豊かな恵み、  
いただく命に感謝しよう!



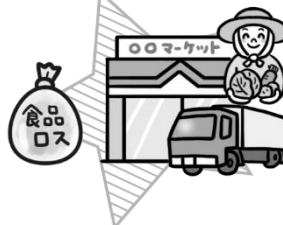
育てる人、運ぶ人、作る人…  
みんなの力で食べられる。  
「ありがとう」の心をもとう!



マナーを守り、  
たすけあい  
楽しくなかよく!



給食を通して、  
社会をよく知ろう!



未来に伝える  
ふるさとや伝統の食!

